



安心の拠り所

2006 March

社会福祉法人

ELDERS

vol. 29

# 年長者の里

URL: <http://nenchousha.com> E-mail: [elders@nifty.com](mailto:elders@nifty.com)

発行者

芳賀 辰壽

編集者

池上 謙吾

住所

北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1  
TEL (093) 652-3939  
FAX (093) 652-3999

## 『サービスが先』 福祉法人の基本です

### 芳賀理事長 年頭の辞

新年あけまして  
おめでとうございます

平成18年の新春を皆様とご一緒に迎えられたことを感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、鶏のようにバタバタとした多事多難な一年<でした。

日本ではJR福知山線での脱線事故の大惨事があり、その後も、子供たちが犠牲になる痛ましい事件が相次ぎ、また、ワイドショー的な小泉劇場があり、一方、愛知での万博の成功もございました。

更に、毎日のように新聞を賑わすテロや暴動など、余りにも大きな事件の続発で、感覚が麻痺するような一年ではなかったかと思えます。

この様に、テロリズムによる新しい戦闘の拡大を見せつけられますと、これはもう武力では解決できないことだということを思い知らされた訳であります。

### 《平和が基本の福祉社会》

福祉の世界は平和なくしては成り立たない世界です。心配なのは感情的なナショナリズムとその上に立った憲法論議が声高になっていることです。私は本当の愛国心の涵養は必要不可欠なことであり現在の平和憲法は、私は天から与えられた宝物だと思っております。

我が国の国連への分担金はアメリカに次いで多いということで、是非にも経済大国として常任理事国入りを目指すべきだという議論がありますが、分担金が多いからそのポストをくれと言うのでなく、私はむしろ、諸国から請われて常任理事国入りするというのであれば、正に日本は“有徳の国・徳のある国”であります。政治家にはそういう国の在り方を追求して欲しいと願っています。

特にこのお正月が平穏な三が日



であったのでその思いを深くした次第です。

### 《厳しい福祉事業環境》

昨年10月の制度改正以来、特養の収支は悪化しています。この4月から介護報酬が改定され、一層厳しい経営環境が懸念されます。報酬の引き下げとご利用者の入院増で収入減となるために私ども福祉事業所では経費の更なる節減で対応せざるを得ません。

この厳しい経営環境下で魅力ある職場をつくることは事業経営の努力だけでは不可能であります。国の福祉施策をしっかりと反映し福祉職場が働きがいのある環境・条件を整えなくてはなりません。そのことが「利用者主義」であります。

### 《サービスが先、利益は後》は福祉法人の基本

年長者の里は社会福祉法人であります。社会福祉法人はNPO法人と同じで、利益を外部に、つまり出資者に配分する事はあり得ない訳で、このことは株式会社とは決定的に違うところです。では剰余金(利益)が出たらどうするかという事ですが、これは内部にしっかりと蓄え、将来の発展に備える、或いは、従来からの設備をより良いものへリニューアルするなどの費用に当てること、これが肝要でございます。

現在、年長者の里では、特養大蔵園への入園待機者が200人以上います。そこで、昨年8月に《介護付有料老人ホームパレス穴生》を開設いたしました。やはり大蔵地区での待機者は穴生では解決できず、殆どの皆さんが待機のまま残って居られる次第です。従って、今春、行政のOKが取れ次第、この大蔵の隣接地に、待機者の皆さんにお応えするためにも《介護付有料老人ホームパレス八幡》の建設を始めたいと思っております。勿論借金をしての建設ではありませんが、このことは、当法人年長者の里が精神的なバックボーンとしております《義は利に優る》の精神で、つまり、「何よりも必要とされるサービスの提供を最優先する」で参ります。福祉法人の使命として、借り入れをしても取り掛かりたいと思っておるところです。

新年が平和で安全な年であり、皆さんが健康で、且つ幸多い年でありますことを祈念しまして、ご挨拶と致します。

## さあ 花の季節!! 元気な身体づくりを心掛けましょう

年長者の里のすぐ前、民家の崖のエニシダが美しい黄色の花を咲かせ、通りがかりの人たちも立ち止まって眺めています。

いきいき広場に植えられている紅梅も開いてました。(写真)新聞やテレビでも梅の便りが聞かれ、春は、すぐそこまで来ています。

これからは、梅や椿に続いて、ユキヤナギ、白モクレンが真っ白な花で街を飾ってくれます。年長者の里のそばを流れる大蔵川も黄色い菜の花で飾られることでしょう。

年長者の里の各施設では、花見やウォーキングといった



戸外での行事も多くなります。

足や手をご不自由な方にとっては、リハビリはつらいことでしょうが頑張ってくださいと思います。健康な方でも、今年の冬は特別

寒く、運動不足になっている方も多いと思われます。天気の良い日は足腰の運動を心掛け、皆さんと一緒に花見やウォーキングを楽しみましょう。(広報室)

# 北九州高福協『新春福祉交流会』に 500名が出席



1月7日、北九州高齢者福祉事業協会(＝高福協)の平成18年新春福祉交流会が、リーガロイヤルホテル小倉で開催されました。当日は、福祉関係者を中心に末吉市長をはじめ、地元選出国會議員、北九州市福祉行政関係者、医療、経済、文化人など、各方面から500名の皆さんが参加しての盛大な交流会となりました。

開会に当たって芳賀歳壽会長(＝年長者の里 理事長)は、高福協役員を紹介した後、「福祉事業も大変厳しい時期にさしかかっていますが、営利企業ではない私

どもく社会福祉法人は、サービス最優先を念頭に、全力を傾注して地域福祉の向上に取り組んでまいります」と社会福祉法人の果たすべき役割を強調し、熱意を述べました。

末吉市長並びに、西川京子衆議院議員(厚労省政務官)は祝辞で、他の都市に先駆けて創設されたこの高福協の組織は大変素晴らしい。これに賛同される皆さんの横のネットワークが北九州を住みよい街にしていくなことになり、他の都市への自慢の一つになります」と高福協への期待を述べました。

重洲雅敏商工会議所会頭の音頭による乾杯で始まった懇親会では、恒例の福引大会も実施され、和やか且つ盛況裏に新年の幕開けを祝いました。

## 介護保険が変わります

年長者の里 養護老人ホーム西峰園 施設長 岩永一彦

東日本の日本海側では記録に残る大雪となり、家の倒壊や雪下ろしの事故が多発しました。私達の住む八幡では、積雪も殆どなく厳寒を乗り越えて春を迎えることができました。

国や地方自治体の借金は膨大となり、財政改革として緊縮財政や増税は当たり前の風潮となり、高齢者福祉や医療・年金も、春の季節とは裏腹に厳寒の冬へ突入する様相です。

4月からの介護保険改正では、「要支援1・2」は「介護予防」となり、「要介護1～5」は従来の介護保険に分かれます。「介護予防」はデイサービス等

で筋力トレーニングなどを行って膝痛や腰痛を解消し、介護を受けないで済む元気な身体を作るよう、リハビリを中心に行なって行くことになるようです。また、ヘルパーさんが行う掃除や洗濯などの家事援助は時間や回数の制限を受けることになり、利用料は一ヶ月の定額制になります。介護認定を受けたら1割の自己負担で利用限度額内の介護サービスを自由に選べる制度でしたが、今回の改正は制限があったり複雑で判りにくい制度なので、ケアマネジャーさんとよく相談して介護サービスを選んで下さい。

### わがまちの地域福祉と福祉経営 10

#### ～住み慣れた地域での生活維持のために～

西日本工業大学 研究センター客員教授 皆川 重男



#### ■高齢化の福祉の街づくり

「街づくり」や「地域計画策定」に携わっていると、最近、高齢者の住宅に関する意識に変化があるように感じます。大都市を中心に現役時代に購入した郊外の戸建住宅から、都市機能の集中した中心市街地の集合住宅に住み替えることを希望する高齢者が増加しています。都市の中心市街地には、音楽会や演劇等のイベントを鑑賞できる各種ホールや生涯学習の機会、病院、金融機関があり、ショッピング等がいつでも楽しめる快適・便利な機能が集積しているというのが理由のようです。大手デベロッパが都心に開発した高層ビルには、20～40戸の高齢者向けマンションが用意されています。(かなり高額ですが)

一方、人口問題を研究するある機関は、標高の高いところ、過疎化の進んだ地域ほど高齢化率が高いことを統計的に指摘しています。故郷の自然の中で自給自足型の暮らしを維持する高齢者も多く居ることです。

#### ■地域ケアのキーワードは「自立と共生の両立」

北九州市周辺では1970年代(昭和45年頃)から、企業の持ち家政策と住宅ローンの充実で郊外にニュータウンといわれる住宅地開発が行われ、多くの人が戸建の持ち家に移り住みました。初期に開発された郊外の住宅地は、子育てが終わったりリタイアした人々が多く住み、高齢化率が50%を超えるところも多くなりました。当初は終の棲家として地域のコミュニティを確立するため、祭りやイベントを開催

していましたが、最近ではそれも維持することが困難になり、コミュニティが段々崩壊しているのも現実です。

「街づくり」に参画する時、常に「自立と共生の両立」を呼びかけてきました。両者が単独で存在するのではなく、高齢者等の「自立」と地域の多様な人々との「共生」が両立する街づくりこそが、出来る限り住み慣れた地域で生活できるようにすることの鍵と考えるからです。

#### ■尊厳と安心を実現する地域福祉

平成18年度の介護報酬改定では、在宅生活の継続を支える環境づくりのため、新たに地域密着型サービスである小規模多機能型居宅介護等の創設を推進し、早めの住み替えに対応した介護サービスの見直しを基本的な考え方として提起しています。

「小規模」は、中学校区単位くらいのサービス拠点の設置によるきめ細かで親しみある介護を、「多機能」はその内容は不明ですが、医療と介護の機能分担や多職種協働によるサービスの質の向上を意図しているようです。しかし、経営学の理論によれば、小規模は活動の非効率につながり、多機能は責任の所在の不明瞭につながるとします。地域密着型福祉サービスの実現には、地域の構成者全体で無駄を省きながら個々の高齢者に尊厳と安心を提供し、利用者の困り込みの道具となることがないように地域で運営に参加するシステムの構築が求められます。

福祉事業の経営者は、地域ケアの意識を持ち、経営現場から専門性を発揮するように求められているところです。

(地域密着型介護サービスの提供)

### ドクターよりひとこと 12

## 脳梗塞の新しい治療

年長者の里 たつのおとしごクリニック  
院長・医学博士 小野 隆生

脳梗塞の急性期治療は「時間との戦い」であることを一度ご説明しました。平成17年10月から、脳梗塞治療に新しい薬剤を使用することが出来るようになりました。

「組織プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)」という薬剤です。これは、既に急性心筋梗塞という病気に対して使われているものです。この薬剤の持つ作用は、血栓を溶解させることです。脳梗塞・心筋梗塞という病気は、脳・心臓の血管に血液の塊が詰まって(これを「血栓」と言います)起こります。t-PAを使うことで、血液の流れを塞いでいる血栓を強力に溶解させることができるため、非常に有効な治療薬剤です。「脳梗塞の特効薬」と考えられますし、急性期脳梗塞治療を行う医療の現場でも、以前から使用の認可が待望されていた薬剤です。しかし、この薬剤の登場で脳梗塞治療が解決されたと考えるのは大きな間違いでもあります。その最も大きな

理由は、\*発症後、3時間以内でなければこの薬剤による治療効果が期待できないことです。たとえば、左半身が痺れたような感じがしたので、しばらく横になって様子を見ていたが良くならないので病院に行ってみたら、「脳梗塞」と言われた。このような場合、発症から半日も経過していたらt-PAによる治療を行っても回復は期待できません。逆に、t-PAによる副作用(：最も危険なのは脳出血です)の恐れがあるため薬剤を使用することができません。脳梗塞を疑う症状があったら、直ちに病院受診することが重要です。夜間であっても、「朝まで様子を見る」のではなく、速やかに病院受診しましょう。t-PAによる治療によって、完全な半身の麻痺が後遺症なく回復することも期待できるようになりました。しかし、回復するか否かは3時間以内に治療を開始できるかによって決まるということでもあります。

# いきいき広場

## 毎年、綺麗なお箸を ありがとうございます

今年も、お正月用の祝箸にと、小倉南区の南 シズエ様から500人分のお箸が届けられました。

箸袋には一膳ずつ千代紙で折られた綺麗な紙人形がデザインされ(写真)とてもかわいいお箸です。

年長者の里では頂いたお箸を各施設に配りお正月のお膳に使わせていただき、ご利用者の皆さんからも大変喜んで頂きました。

南様は、大正5年4月のお生まれで89歳。日頃から指先の運動もかねて、千代紙折りを欠かさず、年末にはお正月用として毎年2,000人分の箸袋に仕上げ、市内の福祉施設にご寄贈されておられます。本当にありがとうございます。



南 シズエ様



## 86歳 元気に餅つき 若い者には負けません

ケアハウス八幡に入所されている光益マサ子さん(86歳)と中西タツミさん(79歳)。とても元気なお二人さん。暮の12月28日、ケアハウス八幡では恒例の餅つきをしました。職員たちが荒突きした餅の仕上げの杵は光益さん。お餅を均すのは中西さん。ハイハイ、ホイホイと掛け声を交わしながら、リズムも軽やかにお二人の呼吸もぴったり。滑ら



かなお餅に仕上げていきました。正に『昔採った杵柄』本当にお元気なお二人です。

## 『また来てね』 祝町小5年生が学習発表

(西峰園・大蔵園DSセンター)



2月2日、祝町小学校5年生36名の皆さんが、西峰園を訪れて学習発表をして下さいました。

祝町小学校では、毎年10月から12月にかけて年長者の里の施設で5年生の福祉体験学習をして頂いております。今年もこの体験学習の締めくくりとして、施設で学んだことを発表してくれました。

発表に立った生徒達は、「最初のうちは、なかなかうまくお話が出来なかった。大きな声で話すといいと思いました。」「喜んでもらったら、『この次も頑張ろう』

『また早く来たい』と思うようになりました。」「学んだことを、大人になっても生かしていきたい。』と皆、元気よく発表してくれました。

この日は、全員でのリコーダー(縦笛)による『威風堂々』演奏や『冬景色』を合唱。『冬景色』の合唱では、ご利用者の方も一緒に口ずさんでおられました。

この後、生徒の手作りの双六ゲームやトランプゲーム、あや取りや折紙で、ご利用者の皆さんと交流していただきました。1時間の短いプログラムでしたが、生徒の皆さんが帰るときには、ご利用者から「また来てねー」との大きな声も掛けられていました。祝町小学校5年生の皆さんありがとうございました。

## 正寿園デイサービスセンター 初詣をしました

皆様のお正月はいかがでしたか。年長者の里 各施設ではお正月の恒例行事として近くの神社へ初詣を行っています。

正寿園デイケアセンターでは、55名の皆さんにご参加いただき、元日・2日・3日の3が日、八幡東区祇園町の仲宿八幡宮へお参りしました。

参拝場までスロープが備え付けられており、足が不自由な方もしっかり参拝することが出来ました。参加者の中には、「恋みくじ」を



お引きになって今年の新たな恋を予感される方もいらっしゃいました。

今年は大変良い天気にも恵まれましたがやっぱり外の風は寒く、お参りされた後は、皆さん境内の焚き火で暖を取られていました。

## Presentation 穴生デイサービスセンター



パレス穴生の開設とともに、穴生デイサービスセンターもオープンいたしました。

特徴として、話題の「岩盤浴」(熊本産天照石を使用)・「環境の良さ」(閑静な住宅地の中にあり明るい)・「食事」(管理栄養士によるバランスのとれたメニュー)が挙げられます。また、介護予防を図るため「リハビリ」(専門スタッフによる個別メニュー)にも力を入れています。さらに、「行事」(さまざまな楽しみ企画、例：お茶会等)も充実しています。このように充実した内容を生かしながら、お客様一人ひとりが満足してお過ごし頂けるよう努力してまいります。(写真のお花はご利用者の方が生けて下さいました)

お問い合わせは ☎ 644-7775

## 合格おめでとう

### 平成17年度介護支援専門員試験に 合格した年長者の里職員です。

大田 昌弘 (正寿園デイケアセンター・支援相談員)	(介護福祉士)
濱田のぞみ ( " " " " )	( " )
宇都宮年子 ( " " " " )	( " )
尾崎 純子 ( " " " " )	( " )
富加見佳代 ( " " " " )	(准看護師)
村山 勝己 (在宅介護支援センター・次長)	(社会福祉士)

(敬称略・順不同 後の括弧は従前からの所持資格)

# ボランティアの皆さん ありがとうございます

## 第11回ボランティア感謝の集い

社会福祉法人 年長者の里



2006年(平成18年)2月2日 木曜日 西日本新聞



「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

「ボランティア感謝の集い」は、年長者の里の各施設において個人や団体でボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の意をお伝えしたいと、平成8年から毎年開催しているものです。今回は、33団体と7名の個人など合計204名の方々にご参加頂きました。

年長者の里で、年間を通じてボランティア活動に参加して下さる方々は、8年前は延べ1,500人位でしたが、現在は4,000人近くになっています。ありがとうございます。

開会に当って、年長者の里 芳賀理事長は「ボランティアの皆さんが持ち込んで下さる「新鮮な風」に触れて、年長者の里のご利用者の皆さんは元気を頂戴し、職員は緊張感を頂いて活性化します」と感謝の意を伝え、日本舞踊

の小草マチ子(春日ゆめ春)様、三味線や民謡、踊りの松栄会(代表:正寶信夫様)、映画上映の八幡東区A V Eの会(代表:三村邦雄様)にそれぞれ感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈式の後、懇親会では恒例の福引会も開催、企業からのご協賛も頂いて盛会な感謝の集いになりました。

尚、当日の午後6時40分からNHKテレビでこのボランティア感謝の集いの模様が放映されました。

### ボランティアに感謝状

法人「年長者の里」が集い 八幡東区

介護老人ホームなどを施設のお年寄りに元気に経営する社会福祉法人「年長者の里」(芳賀理事長)は一月三十日、「ボランティア感謝の集い」を八幡東区大谷の大谷会館で開いた。施設を訪問し、ボランティア活動を行う個人、団体に感謝状を贈呈し、立食パーティーが行われ、会場は賑わって毎年行っており、今年で十一回目。

式典には、約二百人が招待された。芳賀理事長は「皆さんの活動は、十年前から施設で昔話を聞かせる活動を行って、自分自身が楽しんでやっています。体が持つ限り続けていきたい」と話していた。

## 芳賀理事長

# あいさつ



昨年は4,000名の皆さんに、ボランティア支援を頂きました

「ボランティア感謝の集い」も、お蔭様で今回11回目となります。10年以上の長い間ボランティア活動に取り組んでおられる方々も大勢居られますが、改めて心よりお礼申し上げます。

年長者の里も、皆様のお陰で年間延べ4,000人に近い方々にご支援を頂いています。皆様を持ち込まれる外部の新鮮な風に触れて、ご利用者の方々は元気を頂戴します。そして、私どもの職員は緊張感を頂きます。心よりお礼を申し上げます

「義は利に優る」「我が老を老とし 人の老に及ぼす」年長者の里の基本理念です

年長者の里は、福祉法人として、「義は利に優る」という言わば「先ずサービス…利益はその後」という心を大切に取組んでおるところでございます。さらに論語の一節でございます「我が老を老とし、人の老に及ぼす」すなわち「自分のお年寄りを大切にすると同時に他人のお年寄りをも大切にすると

の意ですが、このことの実践に勤めておるところです。

### 介護予防と在宅介護支援に傾注して参ります

年長者の里では独自事業として6年前から「いきいき福祉講座」を開催しております。これは、栄養、健康、予防、文化講座など、月に一回地域の皆様との交流も兼ねて、予防重視の福祉増進ということで取り組んでおります。参加者は現在までに延べ2,500人を超えております。今年も在宅サービスに力を傾注して参りますが、当法人の在宅サービス部門の幹部職員は、ヘルパー派遣事業及び訪問看護事業の責任者亀井郁子、在宅介護支援センター所長堀田久美、同センター次長村山勝己です。村山は、社会福祉士とケアマネジャーの資格取得試験に、昨年合格しております。正に頑張るシニアの象徴です。

年長者の里は、今後も「地域の安心の拠り所」を目指して参りたいと思っております。

(紙面の都合により、一部割愛しております)

## 受賞者のことば

### 個人の部

小草マチ子 様  
(春日ゆめ春=日本舞踊)

私の母も大蔵園デイサービスで楽しい時間を過ごさせて頂き、昨年夏からはパレス穴生でリッチな生活を楽しんでおります。今後は穴生の方にも足を運んで一層喜んで頂けるよう一生懸命頑張りたいと思っております。

### 団体の部

松栄会 (代表:正寶信夫 様)

西峰園など年長者の里の施設で、民謡や踊りを披露させて頂いてい

ますが、身に余る感謝状を頂戴し感激しております。もっともっと新しい芸を身に付けて皆さんのお役に立ちたい。

### 団体の部

AVEの会

(代表:三村邦雄 様)

昭和45年からの活動で、先輩から代々引き継いで、市民の皆さんに映画を通じて元気をもって頂きたいと取り組んでいます。映画を見た皆さんが感動される姿を見るのが最大の喜びですが、その上に今回このように感謝状を頂き、この上ない感激です。

## 恒例『福引会』に歓声

感謝状授与式後の懇親会では、恒例の『福引会』を開催。当選番号が発表されるたびに歓声とため息が入り混じり、盛会裏に感謝の集いを終えました。ボランティアの皆様、今後とも宜しくお願い致します。

